

A PET IS FOR LIFE

アメリカ、カルフォルニア州にあるインフォペット社では、コンピュータでペットの管理を行っています。米粒ほどのマイクロチップにペットのコード

ナンバーを打ち込み、それをペットの肩の部分に埋め込む方法です。コードナンバーを知りたいときは、専用のスキャナーをマイクロチップを埋め込んだ場所に当て

れば、瞬時に呼び出せます。そしてインフォペット社のメインコンピュータにはペットの名前、年、飼い主の名前、住所、電話番号などの情報が登録されており、それがコードナンバーで管理されています。これが迷子の動物を探すときに効力を発揮するわけです。

アメリカでは各都市にボランティアによる動物保護団体の事務所があり、市民が迷子の動物を見つけた場合、そこへ預けに行くことが普通に行なわれています。そしてそこに設置してあるスキャナーを動物に当てます。その動物がマイクロチップで登録してあれば、

すぐにコードナンバーが出るのでそれをインフォペット社に問合せれば、すぐに飼い主に知らせが届くというしくみです。日本でも自動車の登録は、警察がコンピュータで行なっており、車のナンバーを問合せるとすぐに持ち主がわかるようになっていますが、それと似たような形といえます。

マイクロチップ自体はもちろん動物には無害で、犬、猫、鳥、馬など、どんな動物でも装着は可能です。首輪につけた迷子札のよう

に落ちる心配はないし、一度埋め込んだチップは二十五年間作動します。アメリカ、デストロン社製のこのシステムは、一つのマイクロチップの中に、三十四億ものコードナンバーを記憶でき、動物への埋込みも、獣医が注射で簡単にできるようになっています。インフォペット社では約一万のペットを登録しており、スキャナーを各地の獣医、動物保護団体の事務所などに設置しています。そのため迷子の動物が保護されるとすぐに飼い主がわかり、飼い主も動物も大喜びです。半年間で二十七匹の迷子のペットが飼い主のもとに戻ったそうです。費用はチップ埋込みに四十ドル、毎年の会費が十一ドルとのことです。

(エリザベス・オリバー)

新奨学生紹介

初めまして。今度奨学生としてこちらの販売店にお世話になることになりました佐々木英城です。出身は愛媛県。愛媛と云えば『坊っちゃん』『道後温泉』と知っている方も多いと思われます(笑)。